

広報・教育部門

東京下水道の「見せる化」への挑戦

東京都

～下水道のあれこれ 知ってもらいたい～

東京下水道 知ってもらい隊



東京下水道 見せる化マスタープラン



開く 東京下水道を見やすくオープンにします



公式ホームページのリニューアル

「東京アメッシュ」スマートフォン版

伝える 東京下水道のすばらしさや想いをアピールします



大規模事業の情報発信

次世代の下水道マイスターを育成

魅せる 東京下水道の新たな魅力をプロデュースします



YouTubeなどで公開中

トーキョー・マンホール・ストーリー

キャンドルナイトin三河島

PRポイント!

下水道は“見えにくく”“あって当たり前”のものとされ、若者世代を中心に下水道への関心はますます低くなっているからこそ、“下水道のあれこれ 知ってもらいたい!”

そこで、東京都下水道局では今、下水道の役割や課題、魅力をお客さまに積極的に発信していく「見せる化」に全力で挑戦しています。局職員一人ひとりが「東京下水道 知ってもらい隊」として広報に参画するとともに、「東京下水道 見せる化マスタープラン」を策定し、「開く」「伝える」「魅せる」の3つの方針を全職員で共有し、広報・教育の取組みを行っています。

取組み開始以降、職員の広報への意識向上、お客さまの好意的な反応のほか、他の地方公共団体や企業等との連携・協力の動きが加速するなど広報の効果がありました。

Key Person



総務部広報サービス課長 宮田 雅子

職員が一丸となり、積極的に「見せる化」に取り組んでいくためには、局の方針を明確にする必要がありました。このため「見せる化マスタープラン」を策定し、将来を展望し、「見せる化」を展開することとしました。策定にあたっては、局長を議長とした「広報戦略会議」のもと、各部門からなるPT・WGを設置し、若手職員のアイデアを活かしながら検討を進めました。統一した方針をまとめていく作業は容易ではありませんでしたが、事業ごとに「誰に、何を、どのように」見せるのかを、ひとつひとつ検討していくことで、最終的にプランとして体系化することができました。